

# 小児神経学の進歩

第16集

日本小児神経学会卒後教育委員会 編

## =目 次=

### 中 高次神経機能の障害

神経心理学の最近の進展	板 東 充 秋	1
I 失 読		1
II 半側空間無視		2
小児における高次神経機能発達障害の神経心理学的検討—症例を中心に—	大 石 敏 子	10
I 症 例		11
神経心理学的にみた精神遅滞ならびにその指導	長 畑 正 道	24
I 脳の働きについての Luria の考え方		24
II 脳の発達—とくに可塑性と敏感期		25
III 神経心理学的にみた精神遅滞児		27
IV 精神遅滞児の訓練・教育をめぐって		35
記憶のニューロン機構	山 本 長 三 郎	37
I 記憶と学習		37
II アメフラシの学習とシナプス		39
III 陳述記憶と手続記憶		42
IV 手続記憶の座		44
V 海馬体での長期増強		45
リハビリテーション治療アプローチ	大 橋 正 洋	49
I リハビリテーションの説明		49
II リハビリテーション医学について		50
III 身体不全に対するアプローチ		51
IV 能力障害に対するアプローチ		52
V リハビリテーションとは学習プロセス		57
Floppy infant	大 澤 真 木 子	59
I 定 義		59
II 病態・原因		59
III 診断の進め方：大まかな部位診断		62
IV 検査の進め方		68

<b>◆ Clinical Conference (C. C.) I</b>	
<b>痙攣で発症し、精神運動発達退行をきたして来院した8歳女児例</b>	77
〔司会〕渡辺一功	
〔症例担当〕野村一史	
<b>発作波の見方とその取扱い</b>	91
I てんかんの概念	91
II 脳波検査の重要性とその限界	91
III これまでのてんかん、てんかん発作型分類のまとめ	92
IV てんかん発作の鑑別診断	93
<b>NMRの臨床応用（脳および脊髄疾患のMRI診断）</b>	小林直紀 102
I MRI画像	102
II MRIによる中枢神経疾患の診断	105
<b>◆ Clinical Pathological Conference (C. P. C.)</b>	
<b>緩徐な進行を呈した片麻痺の13歳男児例</b>	112
〔司会〕熊谷公明	
〔症例担当〕津田隆	
福永謙	
太田秀臣	
後藤和利	
〔病理担当〕山口裕	
<b>◆ Clinical Conference (C. C.) II</b>	
<b>進行性に筋力低下、ヒポトニーをきたした同胞発生を伴う一女児例</b>	133
〔司会〕大澤真木子	
〔症例担当〕三石洋一	
宍倉啓子	
<b>小児の頭部外傷—その基礎と臨床—</b>	大井静雄 149
I 頭部外傷の基礎医学的概念と小児における特異性	149
II 小児頭部外傷の臨床	158
<b>虚血性の脳細胞障害について</b>	小暮久也 172
I 細胞が行うエネルギー代謝について	173
II 低酸素状態でのエネルギー代謝	178
III 脳虚血について	182
IV 虚血性脳代謝障害と神經細胞障害	186

## ◆ 小児神経学 1986 年度の展望

はじめに	島 田 司 巳	194
診断技術	飯 沼 一 宇	194
新生児神経学	西沢嘉四郎, 島田司巳	195
先天異常—脆弱 X 症候群	石 川 丹	196
炎症性疾患	村 田 良 輔	197
発作性疾患	岡 鎧 次	199
変性・代謝性疾患	鈴 木 義 之	200
神経・筋疾患	橋 本 俊 顕	202
発達障害	長 島 忠 昭	203
小児脳神経外科	佐 藤 潔	205
精神発達遅滞, 心身症, 社会医学	児 玉 荘 一	207
境界領域	島 田 司 巳	208